

令和3年2月12日

報道機関各位

北九州市市民文化スポーツ局
国際スポーツ大会推進室

ウェールズラグビー協会とのレガシー協定締結一周年記念イベント

本市はラグビーワールドカップ2019日本大会（RWC2019）の際のウェールズ代表チーム（WRU）によるキャンプ実施を契機に構築された友好協力関係をレガシーとして持続・発展させていくことを目的に、2020年2月22日に覚書を締結しました。

このたび、レガシー協定締結一周年を記念しウェールズ政府日本代表事務所より特使が本市を訪れ下記の行事を実施します。

報道機関の皆様におかれましては、ご取材方よろしく申し上げます。

記

1 市長表敬

- ① 日時 2月19日(金) 16:00～16:20
- ② 会場 本庁舎3階 大集会室
- ③ 内容 ウェールズ政府特使の徳増氏が、WRUと本市のレガシー協定締結1周年を記念して、市長を表敬。
- ④ 出席者 ウェールズ政府／徳増特使、小堀上級外交担当官
本市／市長
市民文化スポーツ局：担当理事、国際スポーツ大会推進室長
消防局：消防局長

2 『レッドドラゴンズ』ロゴマークお披露目

- ① 日時 2月19日(金) 16:25～16:45
- ② 会場 本庁舎南側玄関前
- ③ 内容 RWC2019のキャンプ時に、WRUから消防局に対し、『レッドドラゴンズ』の愛称を共有することが認められたことから、ロゴマークを貼付した消防自動車をお披露目するもの。
- ④ 出席者 ウェールズ政府／徳増特使
本市／市長、消防局長

3 オンライン交流

- ① 日 時 2月19日(金) 18:30～20:00
- ② 会 場 ミクニワールドスタジアム ビジネスラウンジ特別会議室 1・2・3
- ③ 内 容 WRUと本市ゲストスピーカーをオンラインでつなぎ、これまでの両者の交流、現状、今後の展望や、ミクスト・アビリティ・ラグビーをはじめとする共生社会の実現に向けた取り組み等について意見交換を実施。さらに、WRUが作成した動画及び、それを基に授業を行った市内小中・特支学校の生徒からの返信動画メッセージ及び消防車両お披露目の模様をオンライン上で共有。
- ④ 出席者 WRU／4～5名予定
本市／市ラグビー協会・小田理事、国際スポーツ大会推進室長
徳増特使
- ⑤ その他 当日の様子はライブ配信及び後日ハイライト動画をいずれもYouTube（アカウント名：kitaq camp）で公開予定。

【問い合わせ先】

市民文化スポーツ局国際スポーツ大会推進室
TEL：093-582-2411／FAX：093-582-2677
担当：山根（次長）、鎌田（係長）

〈 参 考 〉

令和2年2月26日
市民文化スポーツ局

ウェールズラグビー協会との覚書(レガシー協定)を締結しました！

このたび、北九州市は英国・ウェールズを訪問し、ウェールズラグビー協会(WRU)との間で、昨年のラグビーワールドカップ2019日本大会(RWC2019)の際のウェールズ代表チームによるキャンプ実施を契機に構築された友好協力関係をレガシーとして持続・発展させていくことを目的に、下記のとおり覚書を締結しましたのでお知らせします。

なお、WRUが日本の自治体とこのような覚書を締結することは今回が初めてのこととなります。

記

1 覚書について

- 【名 称】 RWC2019 のレガシーの一環としてのウェールズラグビー協会と北九州市との友好・協力関係に関する覚書
(通称) レガシー協定
- 【内 容】 ○ RWC2019 の開催前並びに開催期間中に両者の間で培われた友好・協力関係を維持し、さらに発展させていくこと
○ 両地域における各種交流プログラムの実施について、その実現に向け誠実に協議を行っていくこと

2 覚書締結式について

- 【締結日】 2020年2月22日(土) 13:30～13:50 ※ 現地時間
- 【会 場】 プリンシパリティスタジアム (ウェールズ カーディフ市)
- 【署名者】 北九州市側 北九州市 副市長 鈴木 清
WRU 側 WRU チェアマン ギャレス・デービス (Mr. Gareth Davies)

3 その他

- 覚書(レガシー協定)については WRU から本市に締結の提案がなされるとともに、締結式について WRU から市長及び市議会議長宛に招待状が送付されたことを受け出席するものです。なお、市長については公務の都合により鈴木副市長が市長を代理して現地を訪問しました。
- 以下の締結式の詳細な写真については別添の画像データをご参考ください。



<写真①>



<写真②>



<写真③>



<写真④>

徳増浩司氏 プロフィール

< 役職 >

神田外語大学客員教授

日本ラグビーフットボール協会特任理事

元ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会・事務総長特別補佐

渋谷インターナショナルラグビークラブ会長

< プロフィール >

1974年に国際基督教大学（ICU）を卒業後、1975年に来日したラグビーウェールズ代表のプレーに魅了され、渡航を決意。現地のカーディフ教育大学でコーチングを学んだあと、茨城の茗溪学園の英語教師とラグビー部監督になる。「個性を活かした」独自の指導方法で、10年後の1989年に同校ラグビー部を全国高校大会で優勝に導く。

1994年に日本ラグビーフットボール協会に入り、国際部長、広報部長を歴任。

2003年からはラグビーワールドカップの招致事務局長となり、6年がかりに招致活動の末、2009年に2019年日本大会の招致を実現する。

その間、アジアラグビー協会選出の世界ラグビー（国際統括団体）の理事や、アジアラグビー協会会長などを務めアジア地域でのラグビー普及活動に専念する。

2017年には、日本の子どもたちと海外の子どもたちが一緒にラグビーを楽しむための「渋谷インターナショナルラグビークラブ」を設立、会長となり現在に至る。